

環境省の「生物多様性保全上重要な里地里山(全国 500カ所)」に「八千代市ほたるの里」が選ばれました！

ほたるの里だより

八千代市ほたるの里づくり実行委員会 第62号 2020年7月



周りから見るほたるの里（春）



※この里だよりは 令和2年度 ちば環境再生基金助成金（県民の活動）を頂き作成しました。

第23回総会報告

会長挨拶

ほたるの里づくり実行委員会第23回総会は、4月11日（土）10時～11時、やちよ農業交流センターで開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症予防のため、急遽役員会で協議し、会員の皆様に議案書をお送りして承認をいただく書面表決で対応させていただきました。会員35名から、承認のお返事と、応援メッセージもいただき、これからの活動の励みとなりました。

令和元年度は、元号が平成から5月には令和と新しくなりました。ほたるの里づくり実行委員会は平成10年度に発足し、今年で22年目となります。

昨年度は、里の整備をはじめ、おや子生き物探検隊、八千代市自然調査（生物モニタリング調査）、里だより、新しい里のリーフレットの発行など活動

金室 彰

残念なこととしては、台風15号の被害で、小網代の森（神奈川県三浦市）視察、新型コロナウイルスの影響で、冬のおや子生き物探検隊の活動が中止となりました。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響がまだ継続しております。当初予定していました、おや子生き物探検隊、自然観察会など、様子を見ながら対応していきます。里の整備作業は、6月まで中止しておりましたが、新しい生活様式を取り入れ、整備の際の注意点など決めて、お互いに充分気をつけ7月から開始いたします。

皆さまのご安全を祈念し、里へのご協力を今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

里の整備参加新ルール（感染のリスクを減らすために、お互いに思いやりましょう！）

- ・体調が悪い場合は参加しない・家で体温計測・整備作業の前の健康チェック・マスク着用（熱中症対策）・ソーシャルディスタンス・道具の貸し借りしない・整備前後は手指を消毒

月 日（曜 日）	時 間	活 動 内 容	場 所
令和2年 4月18日（土）	9:00～11:30	環境整備	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
5月 9日（土）	9:00～11:30	環境整備	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
6月13日（土）	9:00～11:30	環境整備	新型コロナウイルス感染症予防のため中止
7月11日（土）	9:00～11:30	環境整備	ほたるの里
8月 8日（土）	9:00～11:30	環境整備	ほたるの里
9月12日（土）	9:00～11:30	環境整備	ほたるの里
10月10日（土）	9:00～11:30	環境整備	ほたるの里
11月14日（土）	9:00～11:30	環境整備	ほたるの里
12月12日（土）	9:00～11:30	環境整備	ほたるの里
令和3年 1月 9日（土）	9:00～11:30	環境整備	ほたるの里
2月13日（土）	9:00～11:30	環境整備	ほたるの里
3月13日（土）	9:00～11:30	環境整備	ほたるの里

八千代市内でよく見かけるチョウと食草

山崎 保正 (おや子生き物探検隊講師)

八千代市では、20年ほど前に大がかりな自然環境調査を行い 2002年3月に報告書を発行しました。その時調査した場所の多くでは、宅地や道路の開発などが進みだんだんと生き物の数が減っています。その報告書に、この調査では記録できなかったが今後市内で多く見られるようになると予想されるチョウがあげられていました。多くの昆虫が減っていくなかで、みなさんの家の近くや林の中でたくましく数を増やしているチョウが見られます。

ツマグロヒョウモンとナガサキアゲハは市内の街中や住宅地で一番多く見かけるチョウになりました。半世紀以上前の昆虫少年にとっては、どちらも関西以西に行かなければ採集できなかったチョウで、一昔前に初めて市内で捕ったときには感激したものです。

多くのヒョウモンチョウの仲間は、食草の葉がない冬は卵や小さな幼虫で過ごし春に芽吹く葉を食べて1年に1度発生します。しかし、ツマグロヒョウモンは1年に何度も発生します。もともとの食草は野生のスミシの仲間ですが、栽培種のパンジーやビオラが大好きで、真冬の幼虫は寒いときにはじっとして暖かい日には動き回り、その葉を食べます。

ナガサキアゲハは他のアゲハのような後翅でっ張り(尾状突起)が無いので、飛んでいてもすぐ分かる大きな黒いアゲハで、食草は栽培ミカン類です。どちらのチョウも都市部の温暖化等により越冬しやすくなり、生息範囲を拡大しています。さらに、ツマグロヒョウモンは愛知近辺から関東地方に出

荷され花壇やプランターに植えられるパンジーなどの苗で卵や幼虫が運ばれたり、ナガサキアゲハはガーデニングブームによる住宅地の庭に植えられる栽培ミカン類の苗木の流通により、いっきにその拡大が加速されたと言われています。

ジャコウアゲハは住宅地の生垣などのアベリアの花で吸蜜する姿を見かけることがあります。10年ほど前に市がジャコウアゲハの復活を期待して食草のウマノスズクサの配布を行いました。その成果が出たのかも知れませんが、ほたるの里のウマノスズクサにも毎年産卵され育ったチョウが飛び立っています。

クロコノマチョウは、ほたるの里でよく見かけます。翅の端が角張り、でっばっているこげ茶色の大きなチョウで、とまると見つけにくいものです。地味な模様と暗がりをほかのチョウとは少し違った飛び方をしてすぐに地面などにとまるので、ほとんどの人はガダと思ってしまいます。食草は里で見られるススキやヨシやジュズダマなどです。

アカボシゴマダラは1995年に埼玉県で突然見つけられたチョウで、その後分布を広げ市内の多くの場所で見られます。このチョウは中国大陸産のものが、人によって放されたと言われ、食草のエノキが植えられた公園などでも生きていけるので増えています。幼虫は昔から市内で見られる同じエノキを食べるゴマダラチョウの幼虫よりは強く、競合してゴマダラチョウの数を減らしてしまうのではないかと心配されています。

※食草：昆虫がエサとする特定の植物



ツマグロヒョウモン♀

ナガサキアゲハ



クロコノマチョウ

ジャコウアゲハ

アカボシゴマダラ



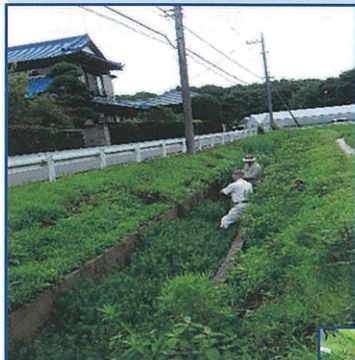
オオフサモ駆除（島田谷津水路）

ほたるの里づくり実行委員会が加入しているヤマトミクリの里づくり協議会主催の、オオフサモの駆除に参加しました。

島田谷津の水路の生育しているヤマトミクリの保全活動の一つとして、毎年実施しています。

駆除は土嚢袋104個分。昨年の2倍強となりました。※オオフサモ：特定外来植物

日時：6月16日（火）9：00～11：30
 場所：島田谷津水路
 参加者：11名
 主催：ヤマトミクリの里づくり協議会



ヘイケボタルの飛翔調査中

期間：6月23日～7月31日 夜
 場所：八千代市ほたるの里
 調査員は黄色のベストを着用しています。

※ヘイケボタルの自生を願って整備作業や調査をしています。里では、懐中電灯の光に気を付けてください。

生き物持ち込み・持ち出し禁止。

ご協力とご配慮をお願いします。



ヤマトミクリの生育調査

日時：6月15日（月）9：00～11：30
 場所：島田谷津水路 参加者：10名
 主催：ヤマトミクリの里づくり協議会

令和元年度 TOTO 水環境基金をいただき、リーフレットを作成しました。



・ ・ ホタルメイト募集中 ・ ・

- 年会費（4月～翌年3月）※登録期間は1年間。
 個人 1世帯1,000円
 市民団体・事業所 1口 2,000円
 詳しくは、事務局までお問い合わせください。

[ほたるの里 連絡先]

八千代市ほたるの里づくり実行委員会事務局

〒276-8501 八千代市大和田新田 312-5

八千代市環境政策室 内

Tel：047-483-1151（内線2216）

E-mail：kankyou1@city.yachiyo.chiba.jp

HP：http://www.city.yachiyo.chiba.jp/123508

/page000009.html

[編集] 広報部会・事務局

八千代市ほたるの里づくり実行委員会

八千代のヘイケボタルや多くの生き物が住めるように楽しく活動しています



お問い合わせ
 事務局：八千代市役所環境政策室
 〒276-8501八千代市大和田新田312-5 Tel:047-483-1151(代表)

